

# IM-Annotation 操作ガイド

第1.0版

2014年7月

株式会社 **NTT** データ イントラマート

## &lt;目次&gt;

1. はじめに .....	3
1.1. 変更履歴 .....	3
1.2. 本書の位置づけ .....	4
2. 各部の名称 .....	5
2.1. フォーム編集画面 .....	5
2.2. アプリケーション実行画面 .....	10
2.3. アノテーション管理画面 .....	15
3. アノテーションアイテムを設定する .....	17
3.1. アノテーションアイテムを配置する .....	17
3.2. アイテムのサイズを変更する .....	18
3.3. コントロールバーや CANVAS のスタイルを変更する .....	20
3.4. 権限設定を行う .....	21
3.4.1. 画像やレイヤーの所有者(オーナー)について .....	22
3.4.2. 画像追加設定 .....	22
3.4.3. 画像権限設定 .....	23
3.4.4. レイヤー権限設定 .....	23
3.5. TIFF 出力設定 .....	24
4. アノテーションアイテムを操作する .....	25
4.1. 画像を登録する .....	25
4.2. ページを切り替える .....	27
4.3. 画像の順番を入れ替える .....	27
4.4. 画像の拡大／縮小を行う .....	28
4.5. 画像を移動する .....	29
4.6. アノテーションを追記する .....	30
4.7. 元に戻す(UNDO)、やり直し(REDO)を行う .....	33
4.8. レイヤー一覧を表示する .....	34
4.9. アノテーションを検索する .....	35
5. アノテーション管理機能 .....	36
5.1. アノテーション管理画面からフローを起票する .....	37
5.2. TIFF 出力された画像を閲覧する .....	41
5.3. TIFF 化された画像を検索する .....	42
6. 附録 .....	

## 1. はじめに

### 1.1. 変更履歴

#	版数	変更年月日	変更内容
1	1.0	2013/07/01	初版作成

※ 本サービスの仕様、及び本書の記載事項は、予告なしに変更する場合がございます。

※ 本書に関するご質問やご不明な点がございましたら、お問合せください。

## 1.2. 本書の位置づけ

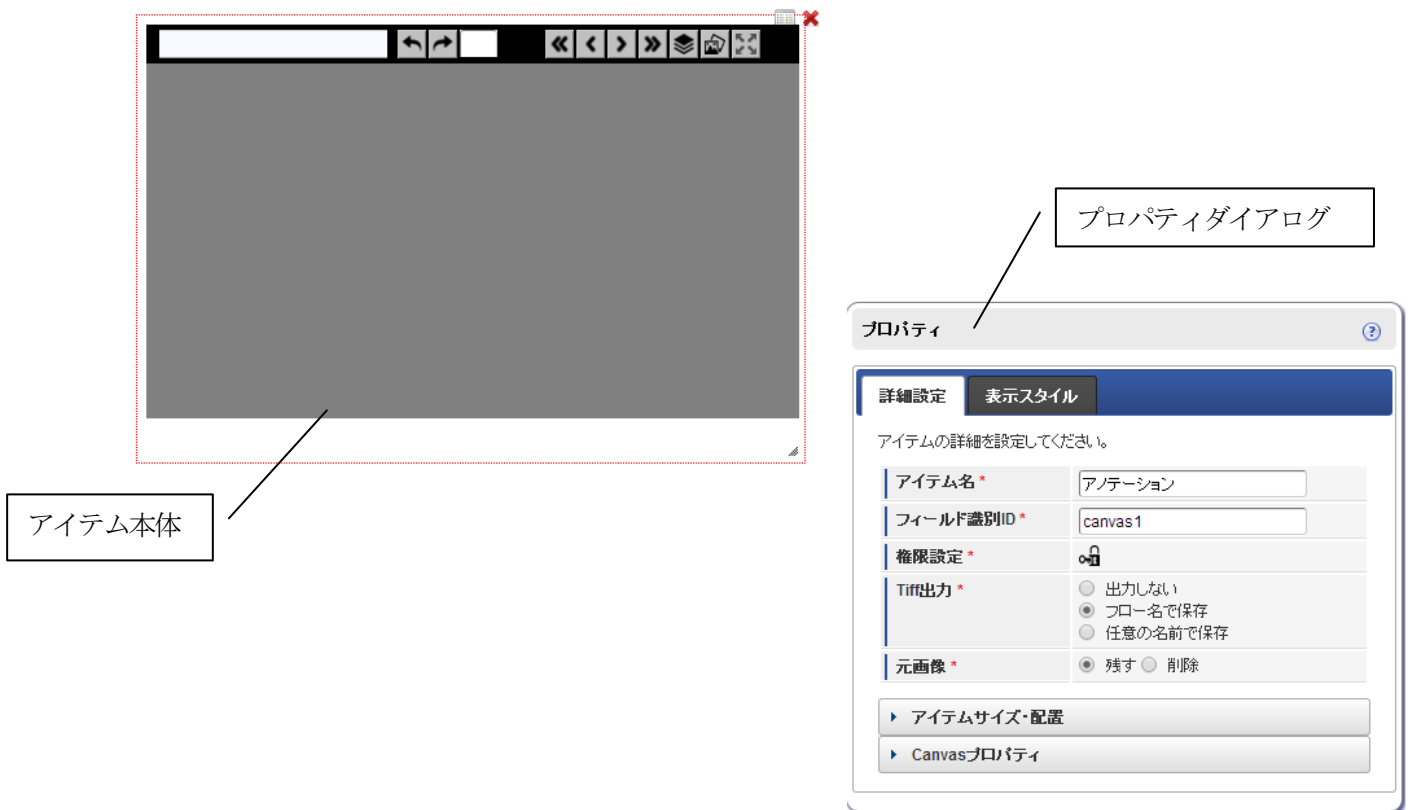
本書は、株式会社NTTデータイントラマート（以後、当社）が提供するIM-BIS for Accel Platform(以後、BIS)向け拡張モジュールである「IM-Annotation」の操作マニュアルであり、以下のユーザを対象としています。

- (1) アノテーションアイテムを利用して画面を作成する業務管理者
- (2) アノテーションアイテムを利用して画面操作するエンドユーザ
- (3) アノテーション管理機能を利用して起票を行うエンドユーザ

## 2. 各部の名称

### 2.1. フォーム編集画面

【図 2.1.1 フォーム編集画面】



【表 2.1.1 フォーム編集画面各部名称】

各部分名称	説明
アイテム本体	アノテーションアイテム本体
プロパティダイアログ	アイテムプロパティ設定ダイアログ

【図 2.1.2 プロパティダイアログ詳細設定】

【表 2.1.2 プロパティダイアログ詳細設定各部名称】

各部名称	説明
アイテム名	このアイテムに対する論理名
フィールド識別ID	このアイテムに対する物理名
権限設定	取り込みした画像に対する権限設定
出力設定	取り込みした画像に対する出力設定

---

アイテムサイズ設定	アイテムサイズに関する設定
Canvas 設定	Canvas サイズに関する設定

---

【図 2.1.3 プロパティダイアログ表示スタイル】



【表 2.1.3 プロパティダイアログ詳細設定各部名称】

各部名称	説明
コントロールバー設定	コントロールバースタイルに関する設定
Canvas スタイル設定	Canvas スタイルに関する設定



【図 2.1.4 プロパティダイアログ権限設定】

設定項目	権限設定
画像追加設定 *	<input checked="" type="radio"/> 画像の追加ができない ※ただし、画像が存在しない場合は追加可能 <input type="radio"/> 画像の追加ができる
画像設定 *	<input checked="" type="radio"/> 他の人に見せる <input type="radio"/> 他の人に見せない <input type="radio"/> 特定の人のみに見せる <input type="checkbox"/> 同じ組織 <input type="checkbox"/> 同じノブリックグループ <input type="checkbox"/> 同じロール
レイヤー設定 *	<input checked="" type="radio"/> 他の人に見せる <input type="radio"/> 他の人に見せない <input type="radio"/> 特定の人のみに見せる <input type="checkbox"/> 同じ組織 <input type="checkbox"/> 同じノブリックグループ <input type="checkbox"/> 同じロール

【表 2.1.4 プロパティダイアログ権限設定各部名称】

各部名称	説明
画像追加権限設定	画像追加に関する権限設定
画像権限設定	追加された画像に関する参照権限設定
レイヤー権限設定	追加されたレイヤーに関する権限設定

## 2.2. アプリケーション実行画面

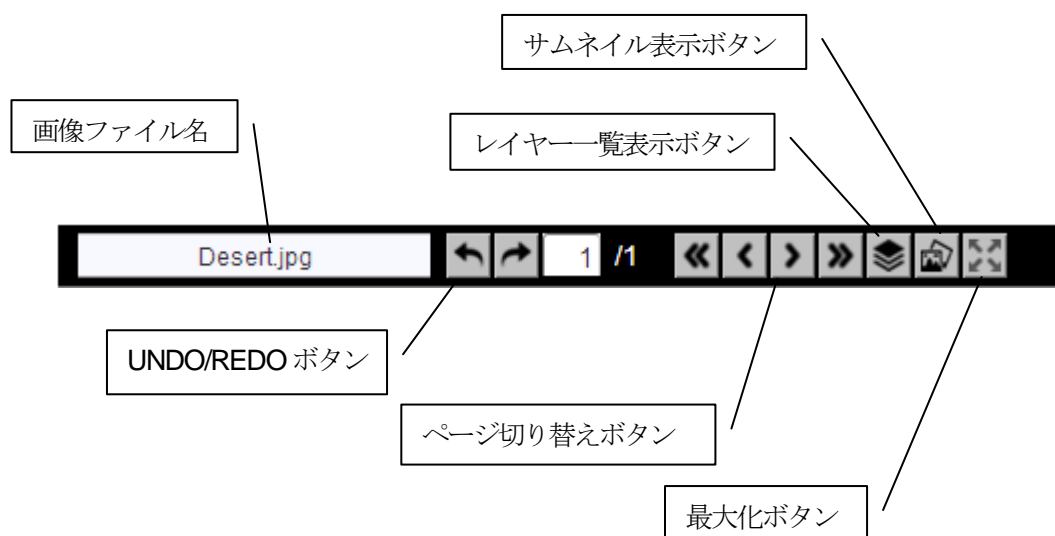
【図 2.2.1 アプリケーション実行画面】



【アプリケーション実行画面各部名称】

各部名称	説明
コントロールバー	現在編集中の画像情報を表示します。
プロパティダイアログ	プロパティを表示するダイアログです。
Canvas 領域	画像領域本体です。

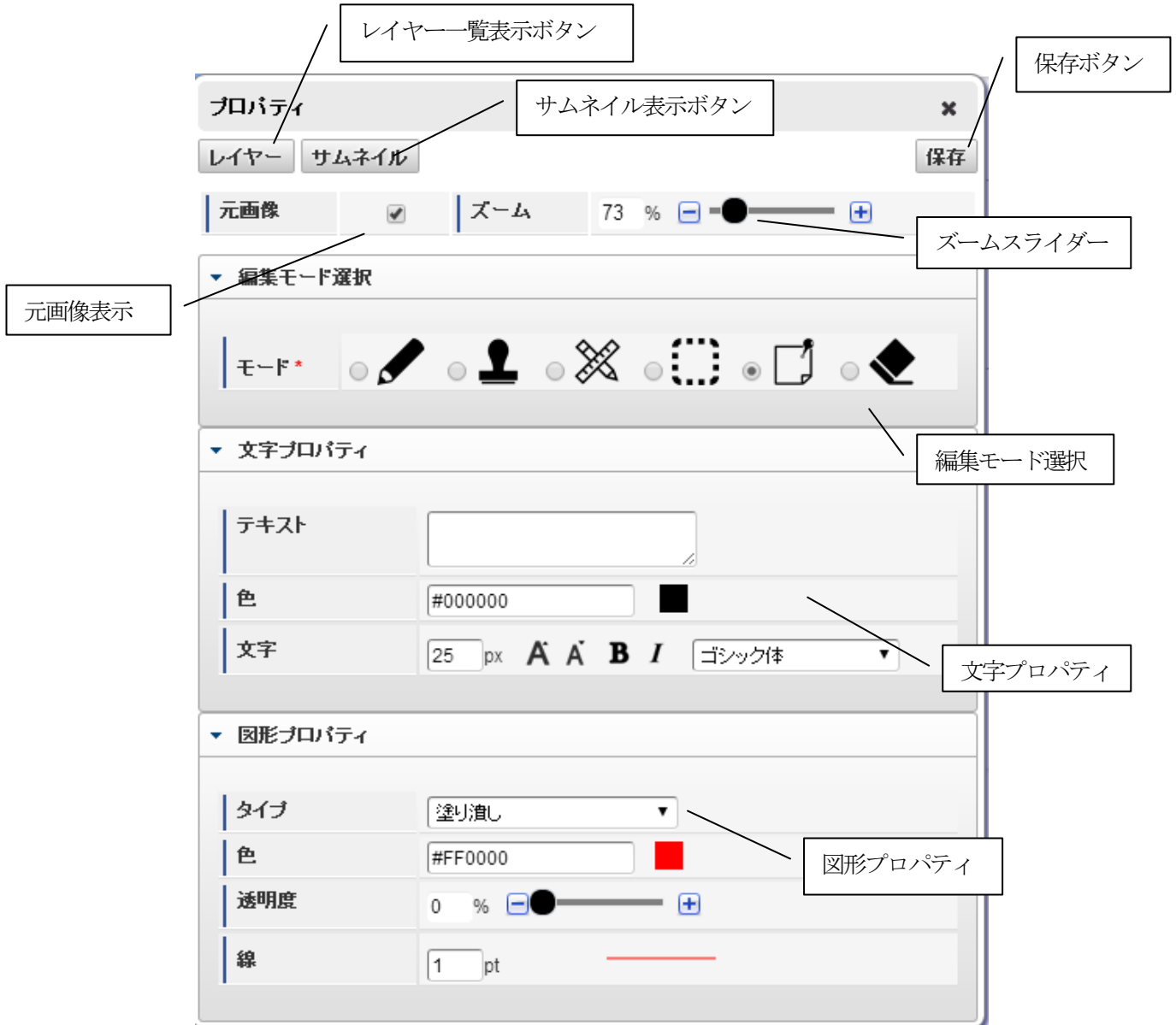
【図 2.2.2 コントロールバー】



【表 2.2.2 コントロールバー各部名称】

各部名称	説明
画像ファイル名	選択中の画像ファイル名を表示します。
UNDO/REDO ボタン	編集中のレイヤーに対して「元に戻す(UNDO)」、「やり直し(REDO)」を行います。
ページ切り替えボタン	画像のページ切り替えを行います。
レイヤー一覧表示ボタン	選択中の画像に対するレイヤー一覧を表示します。
サムネイル表示ボタン	アイテムに設定されている画像一覧を表示します。
最大化ボタン	アノテーションアイテムを画面全体に表示します。

【図 2.2.3 レイヤーダイアログ】



【表 2.2.3 レイヤーダイアログ各部名称】

各部名称	説明
レイヤー一覧表示ボタン	選択中の画像に対するレイヤー一覧を表示します。
サムネイル表示ボタン	アイテムに設定されている画像一覧を表示します。
保存ボタン	編集したレイヤーを確定させます。
元画像表示	背景画像の表示/非表示を切り替えます。
ズームスライダー	画像の拡大/縮小を行います。
編集モード選択	レイヤー編集モードの切り替えを行います。
文字プロパティ※	文字編集のプロパティ設定領域
図形プロパティ※	図形編集のプロパティ設定領域

※文字・図形プロパティは編集モードによって変わります。

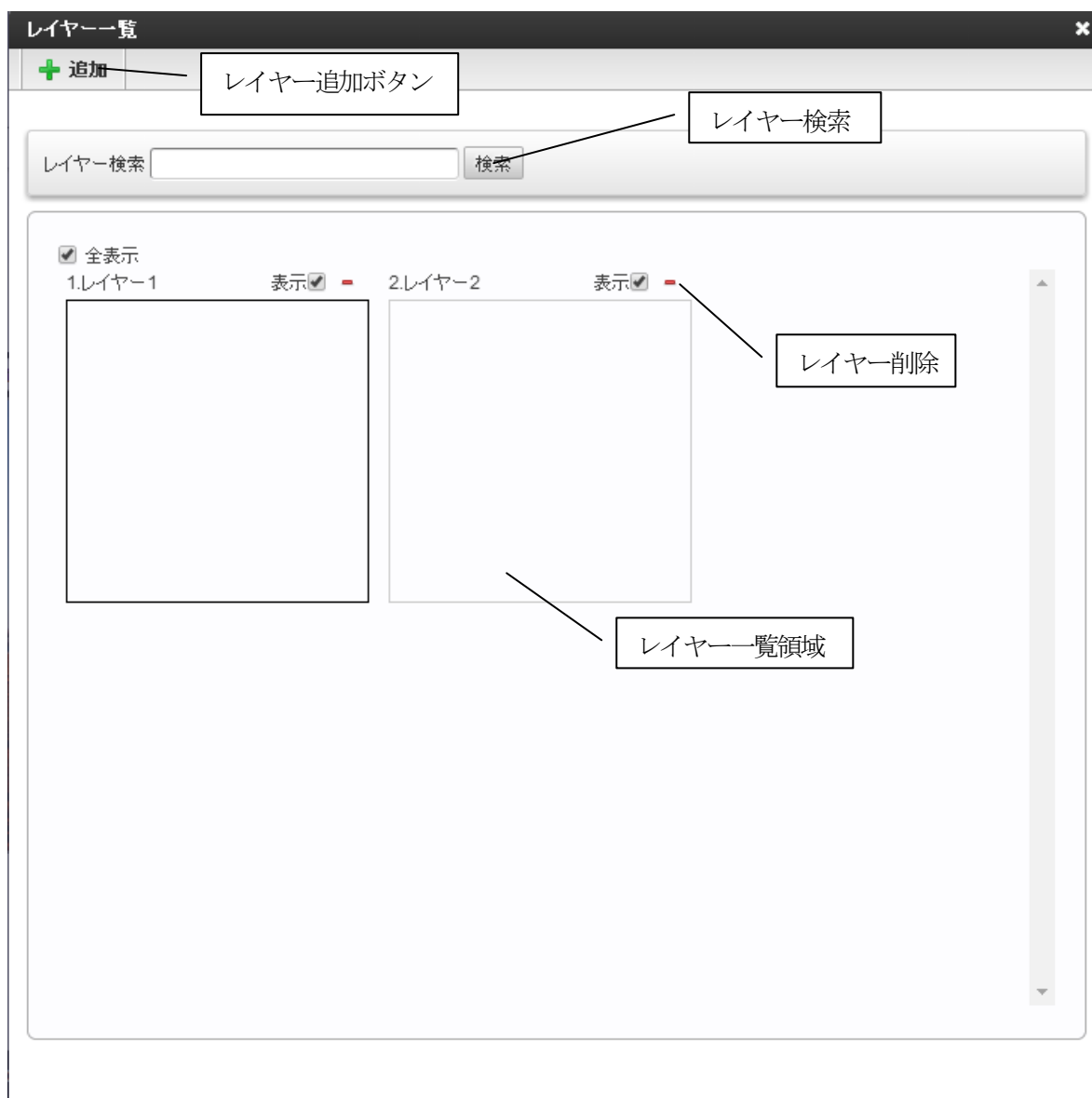
【図 2.2.4 サムネイルダイアログ】



【表 2.2.4 サムネイルダイアログ各部名称】

各部名称	説明
ファイルアップロード	元画像となるファイルをアップロードします。
取り込みボタン	アップロードした元画像を確定させます。
削除ボタン	元画像を削除します。
表示モード	元画像の表示サイズを変更します。
サムネイル領域	アップロードした元画像一覧を表示します。

【図 2.2.5 レイヤー一覧ダイアログ】

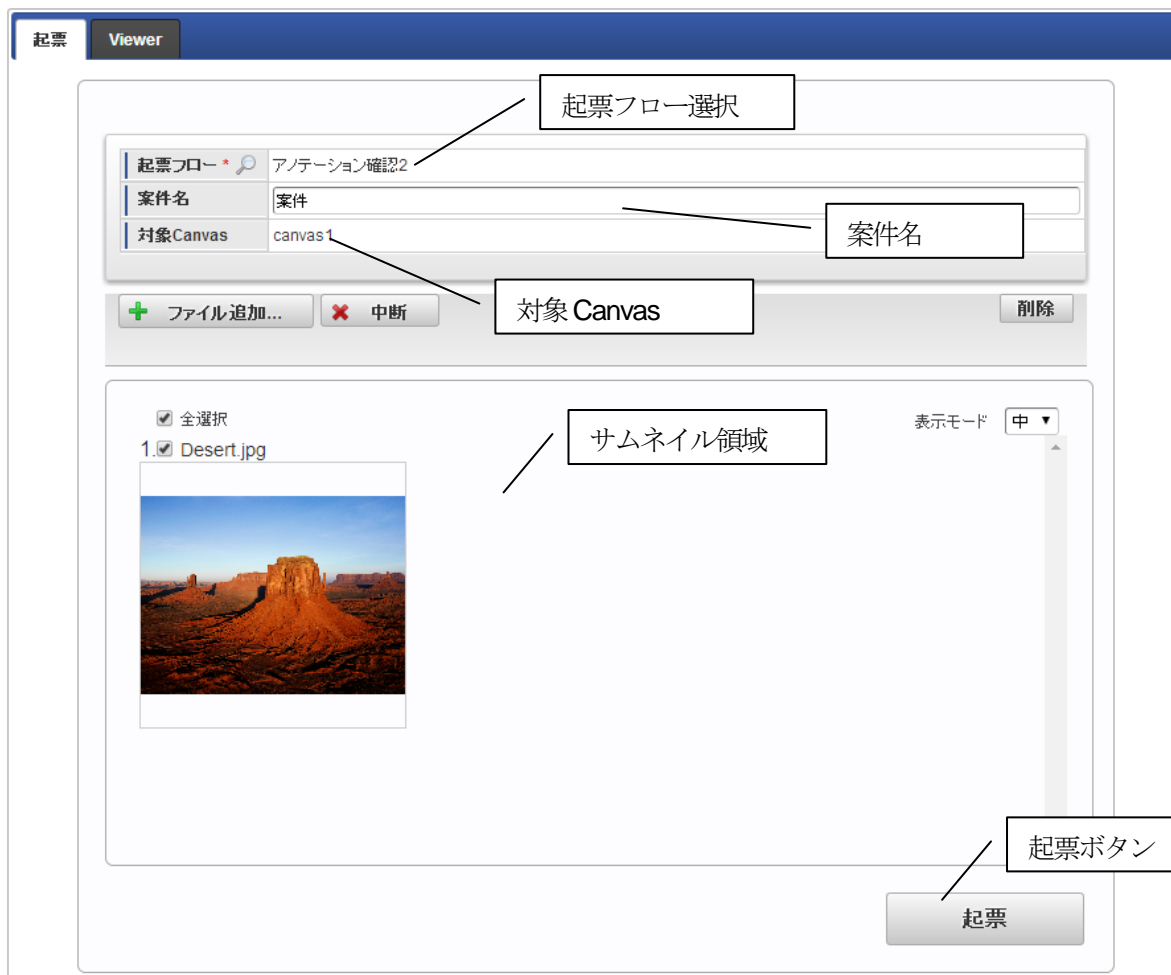


【表 2.2.5 レイヤー一覧ダイアログ】

各部名称	説明
レイヤー追加ボタン	レイヤーを新規追加します。
レイヤー検索	検索条件で設定した文字が描画されているレイヤーを検索します。
レイヤー削除	レイヤーを削除します。
レイヤー一覧領域	対象の元画像に紐づくレイヤー一覧を表示する領域です。

## 2.3. アノテーション管理画面

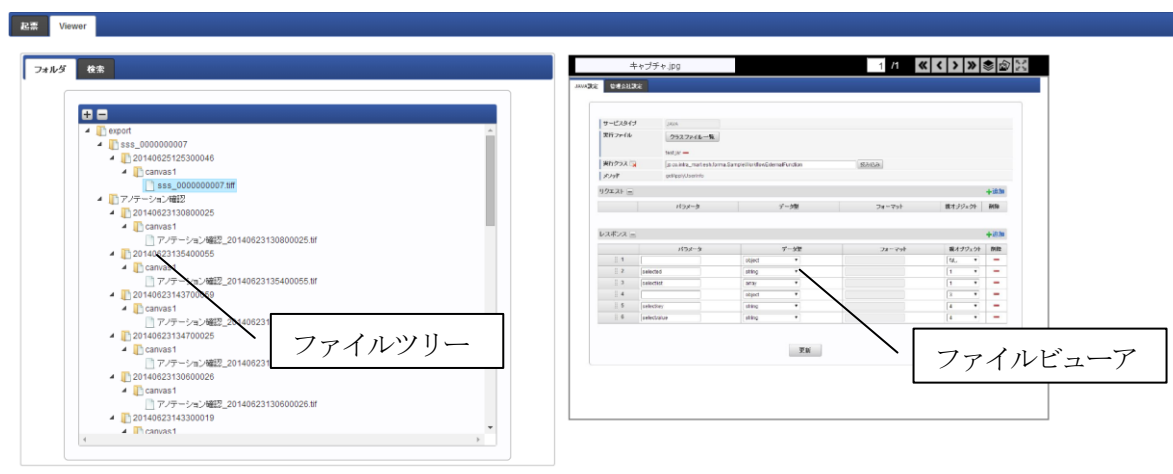
【図 2.3.1 アノテーション管理画面起票タブ】



【表 2.3.1 アノテーション管理画面起票タブ】

各部名称	説明
起票フロー選択	アノテーションアイテムが設定されているフローを選択します。
案件名	フロー起票時の案件名を入力します。
対象 Canvas	案件起票時にサムネイル内の画像を紐づけるアノテーションアイテムを選択します。
サムネイル領域	案件起票時にアノテーションアイテムに紐づける画像を登録します。
起票ボタン	案件を起票します。

【図 2.3.2 アノテーション管理画面 Viewer タブ】



各部名称

説明

ファイルツリー	Tiff 化オプションで出力された Tiff ファイルを Tree 構造で表示します。
ファイルビューア	ファイルツリーで選択した Tiff ファイルの中のイメージを表示します。

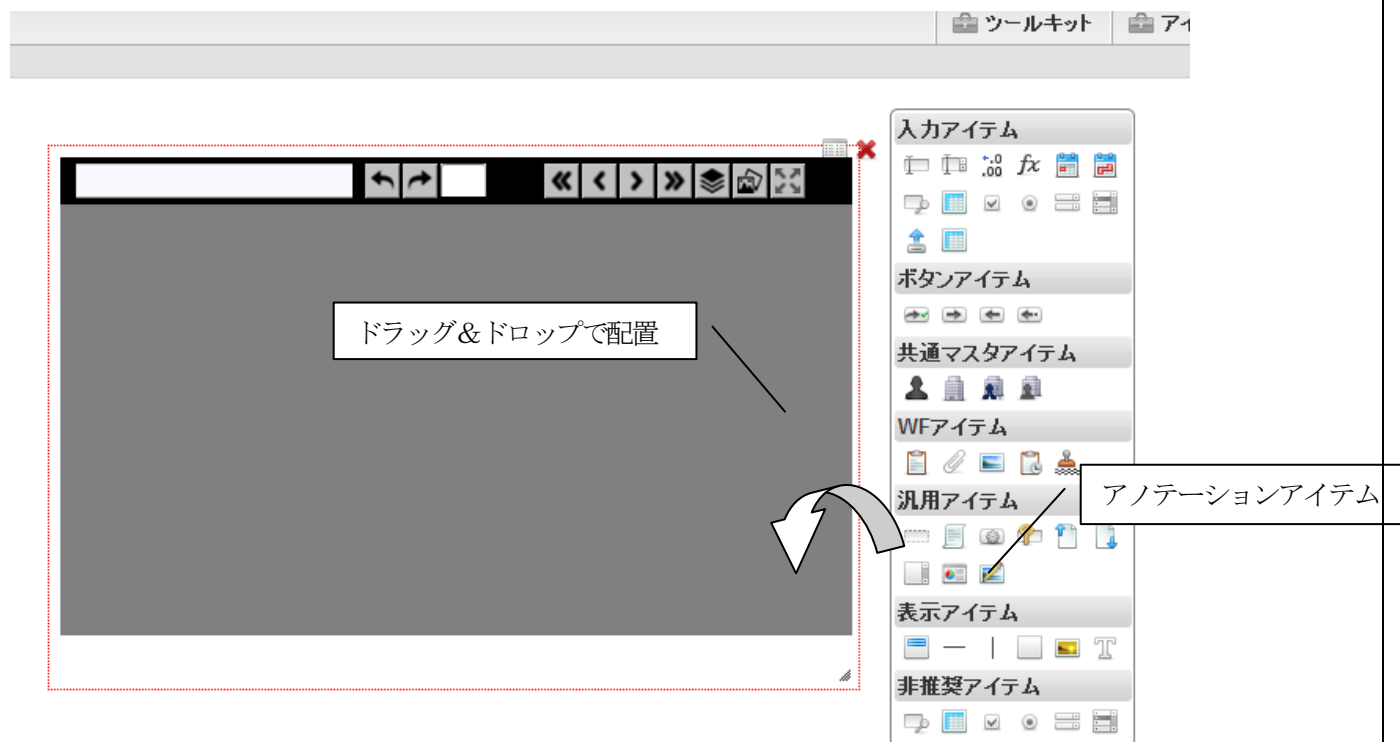


### 3. アノテーションアイテムを設定する

#### 3.1. アノテーションアイテムを配置する

アノテーションアイテムを配置するには IM-FormaDesigner for Accel Platform (以後、Forma)の「フォーム編集画面」の「ツールキット」より「アノテーションアイテム」を選択し、「ドラッグ&ドロップ」操作で配置します。

【図 3.1.1 アノテーションアイテムの配置】



### 3.2. アイテムのサイズを変更する

「アイテムプロパティ-詳細設定」の「アイテムのサイズ・配置」及び「Canvas プロパティ」の値(※)を編集することによりアイテムのサイズを変更します(図3.2.1)。

また、各値の意味は図3.2.2の通りです。

※値はピクセル単位での入力となります。

【図3.2.1 アイテムサイズの変更】

プロパティ

詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

アイテム名 *	アノテーション
フィールド識別ID *	canvas1
権限設定 *	<input checked="" type="checkbox"/> ロック
Tiff出力 *	<input type="checkbox"/> 出力しない <input checked="" type="checkbox"/> フロー名で保存 <input type="checkbox"/> 任意の名前で保存
元画像 *	<input checked="" type="checkbox"/> 残す <input type="checkbox"/> 削除

▼ アイテムサイズ・配置

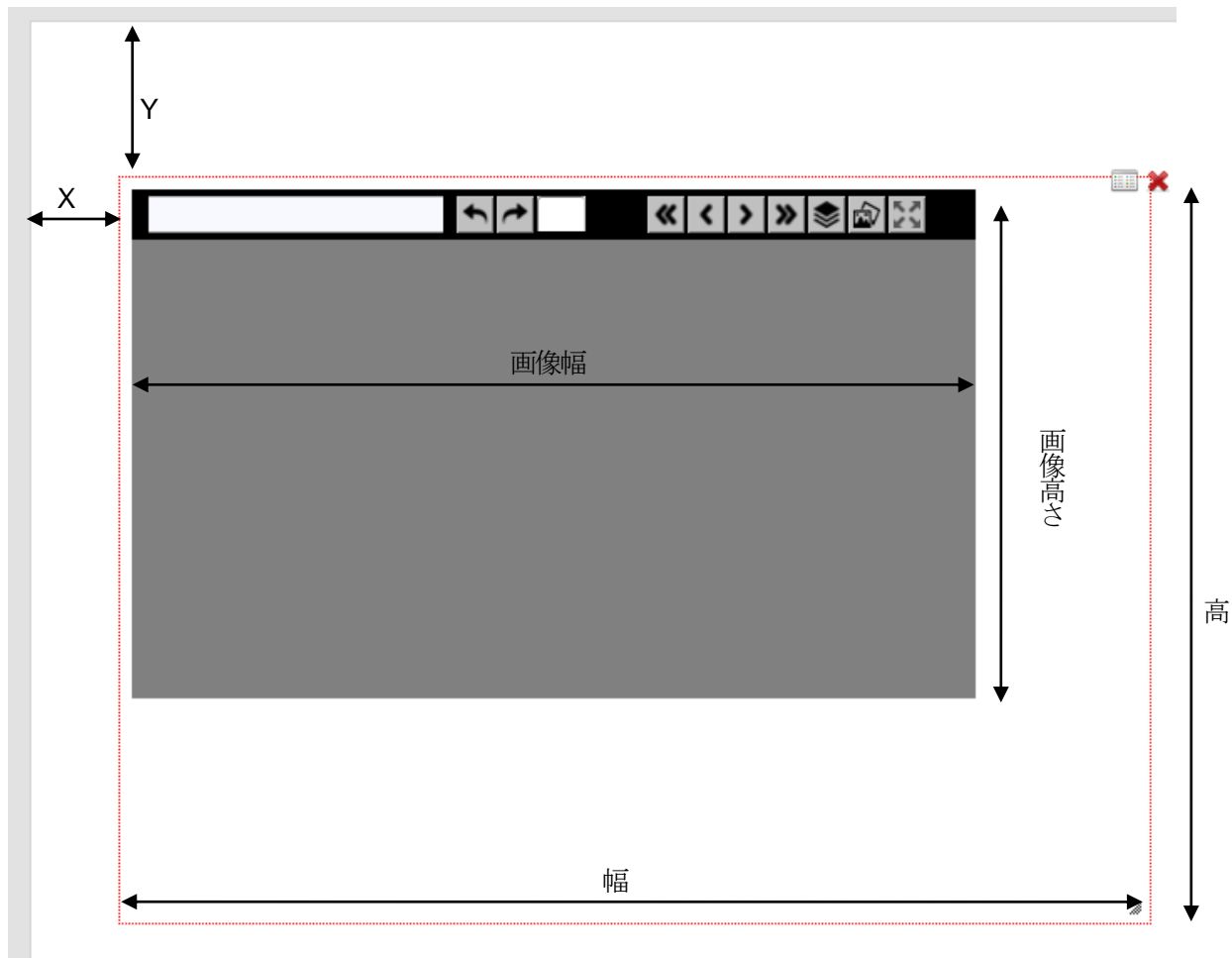
幅 *	500
高 *	330
X *	120
Y *	50

▼ Canvasプロパティ

画像幅 *	500
画像高さ *	300

この領域の値を編集することにより、アイテムサイズを変更します。

【図 3.2.2 アイテムサイズ・配置】



【表 3.2.2 アイテムサイズ・配置】

各部名称	説明
幅	アイテムの幅
高	アイテムの高さ
X	画面の左端を原点としたアイテムの左端までの距離
Y	画面の上端を原点としたアイテムの上端までの距離
画像幅	Canvas の幅
画像高さ	Canvas の高さ

### 3.3. コントロールバーや Canvas のスタイルを変更する

「アイテムプロパティ-表示スタイル」の項目を編集することにより、コントロールバーや Canvas のスタイルを変更することが出来ます。

【図 3.3.1 スタイルの変更】

【図 3.3.2 スタイル変更後のイメージ】



この領域を設定することによりコントロールバーや Canvas のスタイルを変更することが出来ます。



【表 3.3.1 スタイル設定】

各部名称	説明
グラデーションパターン	コントロールバーの色を指定します。 設定は以下の項目を設定できます。 ● 「無し」(単色塗りつぶし) ● 「縦方向」(上から下へのグラデーション) ● 「横方向」(左から右へのグラデーション)
コントロールバーの色 1	グラデーションの始点の色を設定します。 (「無し」の場合はこの値が適用されます。)
コントロールバーの色 2	グラデーションの終点の色を設定します。
枠のスタイル	Canvas 領域の枠線のスタイルを設定します。
枠の太さ	Canvas 領域の枠線の太さを設定します。(ピクセル単位)
枠の色	Canvas 領域の枠線の色を設定します。
背景色	Canvas 領域の背景色を設定します。

### 3.4. 権限設定を行う

「アイテムプロパティ-権限設定」アイコンをクリックすることにより、権限設定ダイアログが表示されます。

【図 3.4.1 権限設定ダイアログ表示】


プロパティ

詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

アイテム名 \* アノテーション

フィールド識別ID \* canvas1

権限設定 \* 

Tiff出力 \*  出力しない  フロー名で保存  任意の名前で保存

元画像 \*  残す  削除

▶ アイテムサイズ・配置

▶ Canvasプロパティ

【図 3.4.2 権限設定ダイアログ】

権限設定

更新

設定後、「更新」ボタン押下で反映

画像追加設定 \*  画像の追加ができない ※ただし、画像が存在しない場合は追加可能  画像の追加ができる

画像設定 \*  他の人に見せる  他の人に見せない  特定の人のみに見せる  同じ組織  同じパブリックグループ  同じロール

レイヤー設定 \*  他の人に見せる  他の人に見せない  特定の人のみに見せる  同じ組織  同じパブリックグループ  同じロール

3.4.1. 画像やレイヤーの所有者(オーナー)について

アノテーションアイテムに追加した画像やレイヤーは追加したログインユーザが所有者となります。ユーザは自身がオーナーとなっている画像やレイヤーを編集することができますが、他のユーザが追加した物について編集することは出来ません。また、ワークフロー上で代理権限が設定されている場合であってもオーナーは「ログインユーザ」となります。

3.4.2. 画像追加設定

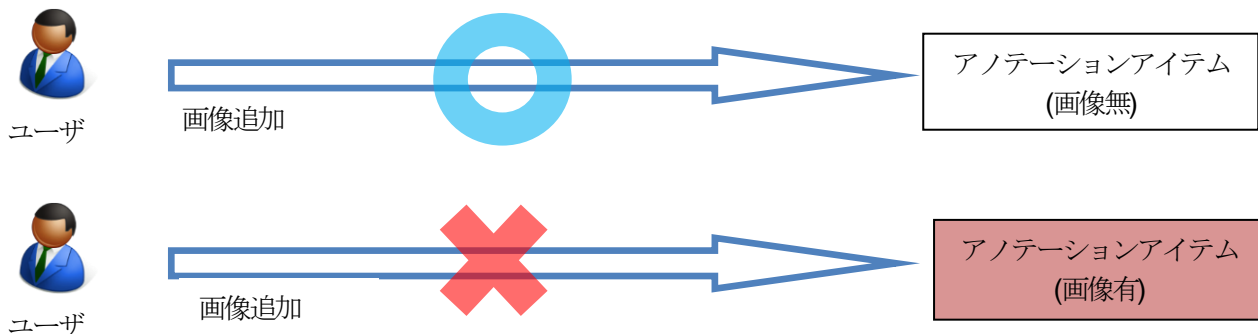
画像追加設定については以下の内容が設定できます。

【表 3.4.2.1 画像追加設定項目】

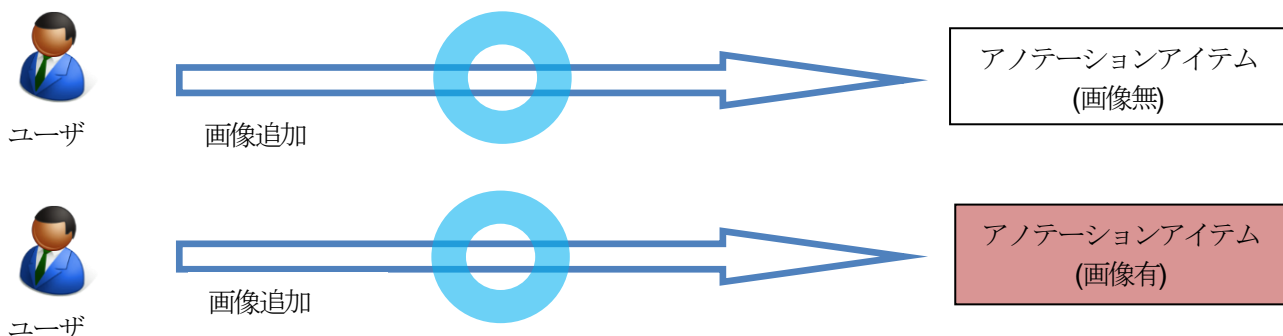
画像追加設定	説明
画像の追加ができない	ユーザは原則、画像を追加することが出来ません。但し、対象のアノテーション部品に画像が設定されていない場合は画像を追加することが出来ます。
画像の追加ができる	ユーザは任意のタイミングで画像を追加することが出来ます。

【図 3.4.2.1 画像追加設定項目】

- 「画像の追加ができない」を設定した場合



- 「画像の追加ができる」を設定した場合



### 3.4.3. 画像権限設定

画像を参照することが出来る権限を設定します。

設定内容は以下の通りです。

【表 3.4.3.1 画像権限設定】

画像権限設定	説明
他の人に見せる	画像を登録したユーザ以外のユーザが画像を参照することが出来ます。
他の人に見せない	画像を登録したユーザ以外のユーザは画像を参照することが出来ません。
特定の人に見せる	画像を登録したユーザ以外に特定の権限を持つユーザが画像を参照することが出来ます。 権限は以下の中から設定出来ます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録ユーザと同じ組織</li> <li>● 登録ユーザと同じパブリックグループ</li> <li>● 登録ユーザと同じロール</li> </ul>

【表 3.4.3.2 画像参照権限】

ユーザ/設定	他の人に見せる	他の人に見せない	特定の人に見せる
登録者	参照可	参照可	参照可
他のユーザ	参照可	参照不可	参照不可
特定ユーザ	参照可	参照不可	参照可

### 3.4.4. レイヤー権限設定

レイヤー(アノテーション)を参照することが出来る権限を設定します。

設定内容は以下の通りです。

【表 3.4.3.1 レイヤー権限設定】

レイヤー権限設定	説明
他の人に見せる	画像を登録したユーザ以外のユーザはレイヤーを参照することが出来ます。
他の人に見せない	画像を登録したユーザ以外のユーザはレイヤーを参照することが出来ません。
特定の人に見せる	画像を登録したユーザ以外に特定の権限を持つユーザがレイヤーを参照することが出来ます。 権限は以下の中から設定出来ます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 登録ユーザと同じ組織</li> <li>● 登録ユーザと同じパブリックグループ</li> <li>● 登録ユーザと同じロール</li> </ul>

【表 3.4.3.2 レイヤー参照権限】

ユーザ/設定	他の人に見せる	他の人に見せない	特定の人に見せる
登録者	参照可	参照可	参照可
他のユーザ	参照可	参照不可	参照不可
特定ユーザ	参照可	参照不可	参照可

### 3.5. Tiff 出力設定

フロー処理時に画像ファイルを Tiff ファイルとして出力する設定を行います。  
また、Tiff ファイル出力時に元画像を削除するかの設定を行います。  
設定内容は以下の通りです。

【図 3.5Tiff 出力】

プロパティ

詳細設定 表示スタイル

アイテムの詳細を設定してください。

アイテム名 \* アノテーション

フィールド識別ID \* canvas1

権限設定 \*

Tiff出力 \*  出力しない  フロー名で保存  任意の名前で保存

元画像 \*  残す  削除

▶ アイテムサイズ・配置

▶ Canvasプロパティ

【表 3.5.1Tiff 出力設定】

Tiff 出力	説明
出力しない	フロー処理時にアノテーションアイテムに登録されている画像を Tiff ファイルとして出力しません。
フロー名で保存	フロー処理時にアノテーションアイテムに登録されている画像を Tiff ファイルとして出力します。その際、ファイル名をフロー名で出力します。
任意の名前で保存	フロー処理時にアノテーションアイテムとして登録されている画像を Tiff ファイルとして出力します。その際、ファイル名を任意の名称で出力します。

【表 3.5.1 元画像設定】

Tiff 出力	説明
残す	Tiff ファイル出力時に現在登録されている画像ファイルを削除しません。
削除	Tiff ファイル出力時に現在登録されている画像ファイルを削除します。



## 4. アノテーションアイテムを操作する

### 4.1. 画像を登録する

1. 「コントロールバー」の「サムネイル」ボタンを押下し、サムネイルダイアログを表示する。

【図 4.1.1 サムネイルボタン】



2. サムネイルダイアログからファイルをアップロードし「取り込み」ボタン押下で登録します。  
※追加できる画像ファイルは「PNG」「JPEG」「Tiff」形式のファイルです。

【図 4.2.1 サムネイルにアップロード】



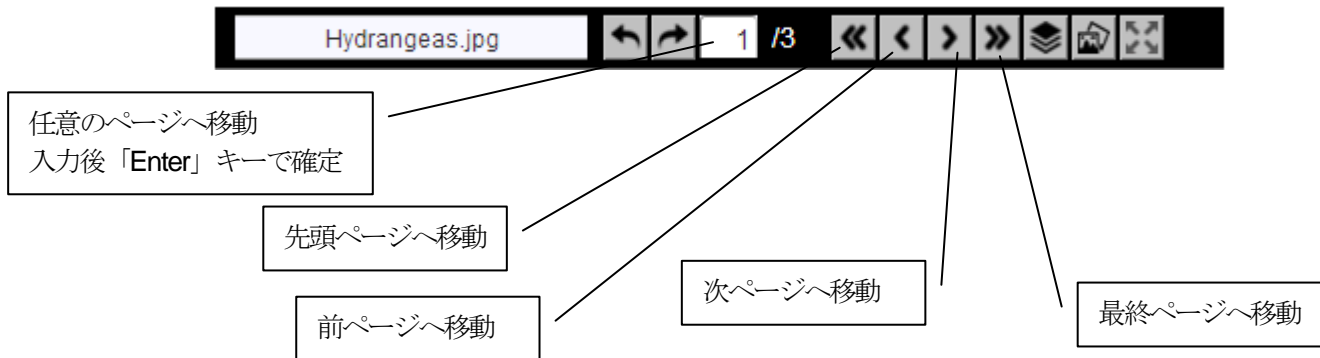
【図 4.2.2 取り込み後の画面】



## 4.2. ページを切り替える

「コントロールバー」の「ページ切り替え」ボタンを操作してページを切り替えることができます。

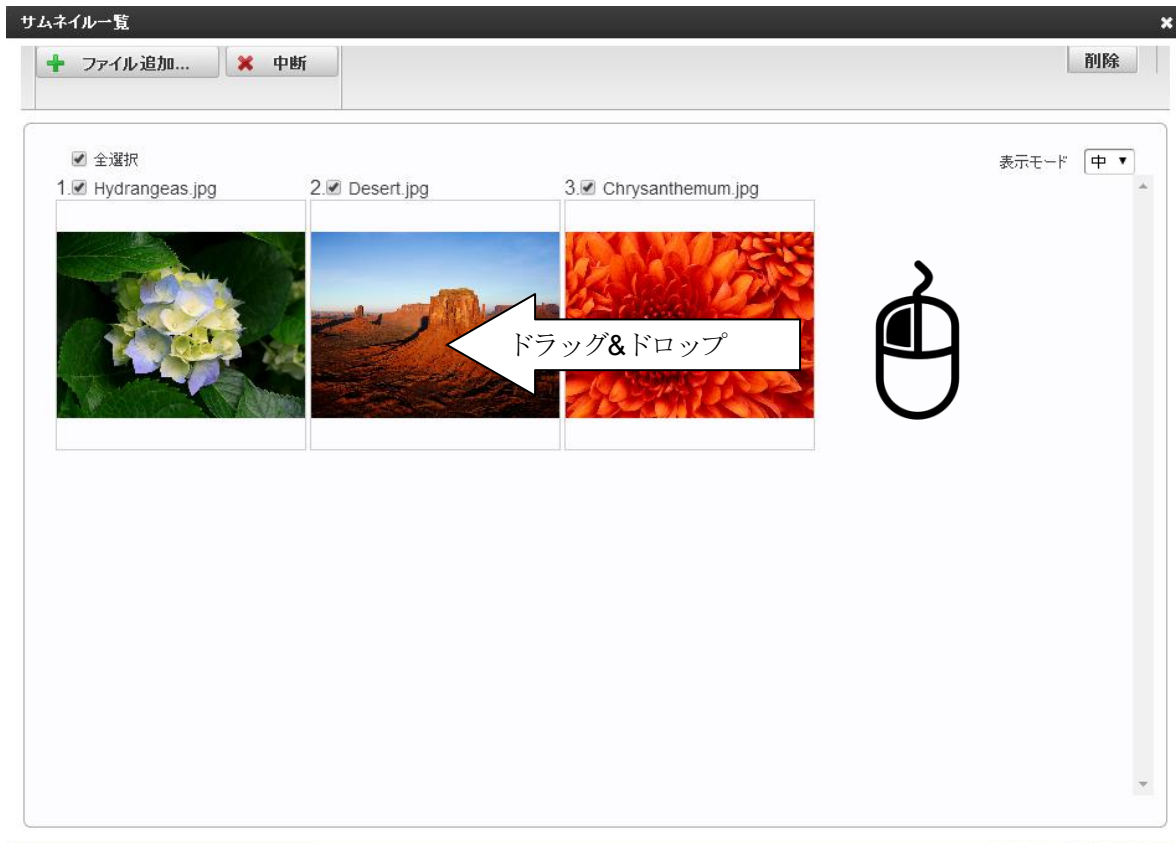
【図 4.2 ページ切り替え】



## 4.3. 画像の順番を入れ替える

「サムネイルダイアログ」で画像をドラッグ&ドロップすることにより画像の順番を入れ替えます。

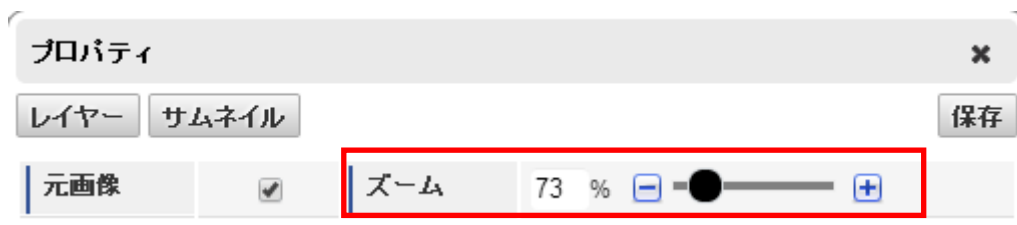
【図 4.3 画像の順番を入れ替える】



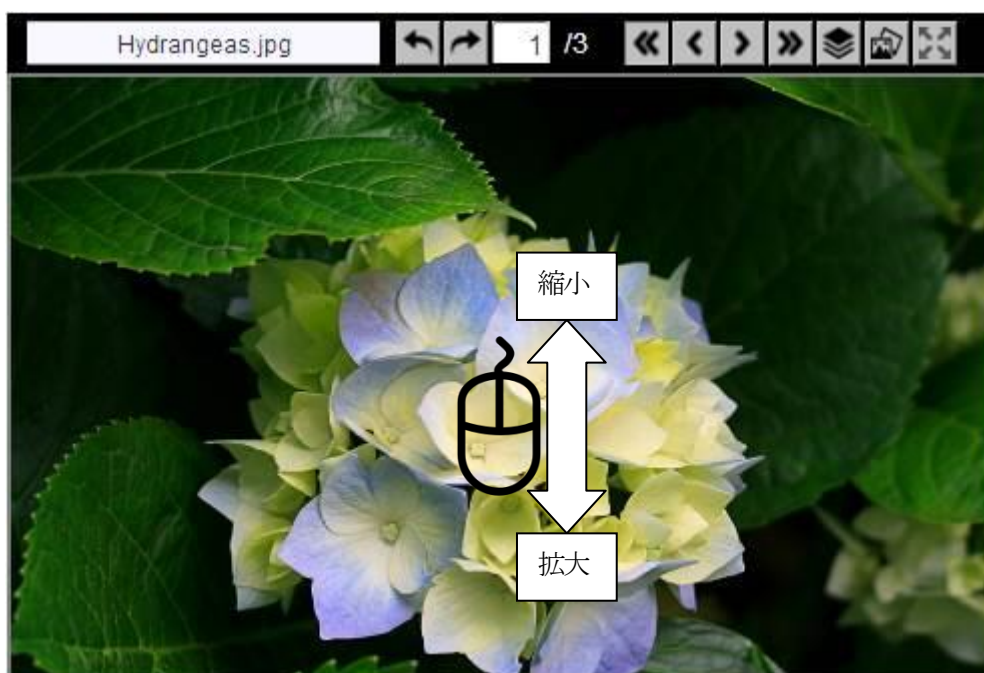
#### 4.4. 画像の拡大／縮小を行う

「レイヤーダイアログ」の「ズームスライダー」を操作またはマウスのチルトホイール操作で行います。

【図 4.4 ズームスライダー】



【図マウスによる拡大／縮小】



#### 4.5. 画像を移動する

「Canvas 上」で「右」ボタンを押下しながらドラッグ&ドロップを行います。

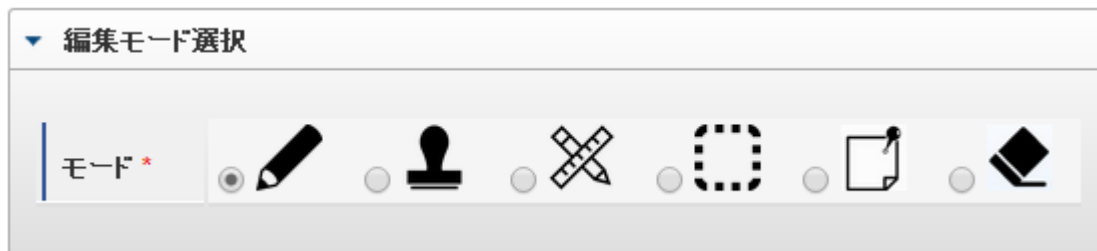
【図 4.5 画像の移動】









#### 4.6. アノテーションを追記する

1. 「レイヤーダイアログ」から「編集モード」を選択して追記するモードを決定します。

【図 4.6.1 編集モード】



【表 4.6.1 編集モード】

アイコン	編集モード	説明
	Pen	フリーハンドモード、マウスの軌跡が反映されます。
	Stamp	テキストを張り付けます。
	Line	始点から終点までの直線を引きます。
	Rectangle	始点を左上、終点を右下とした矩形を引きます。
	annotation	付箋を張り付けます。 始点が補助線の開始位置、終点が補助線の終了位置となります。
	eraser	追記したアノテーションを削除します。 モードとしてフリーハンド、矩形、テキストが選択できます。

2. 色やテキストのサイズを設定します

【図 4.6.2 プロパティ設定】

プロパティ

レイヤー サムネイル 保存

元画像  ズーム 48 %

▼ 編集モード選択

モード\*

▼ 文字プロパティ

テキスト テキスト

色 #FF6600

文字 25 px A A B I ゴシック体

▼ 図形プロパティ

タイプ 枠線

色 #FF0000

透明度 0 %

線 5 pt

3. マウスの左ボタンを押下しながらドラッグ&ドロップをすることによりアノテーションが追加されます。

【図 4.6.3 アノテーション追記】

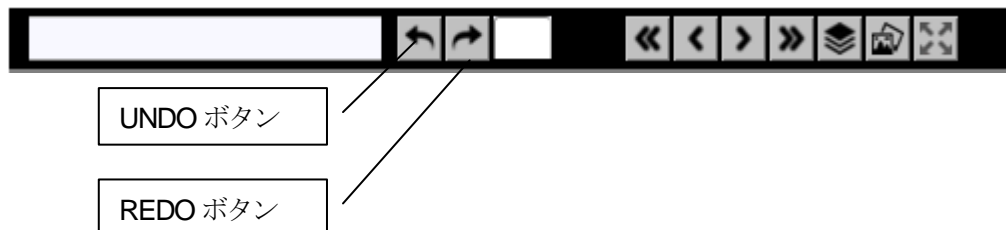




#### 4.7. 元に戻す(UNDO)、やり直し(REDO)を行う

コントロールバーの「UNDO」ボタン、「REDO」ボタンを押下することにより行います。

【図 4.7 UNDO/REDO ボタン】



#### 4.8. レイヤー一覧を表示する

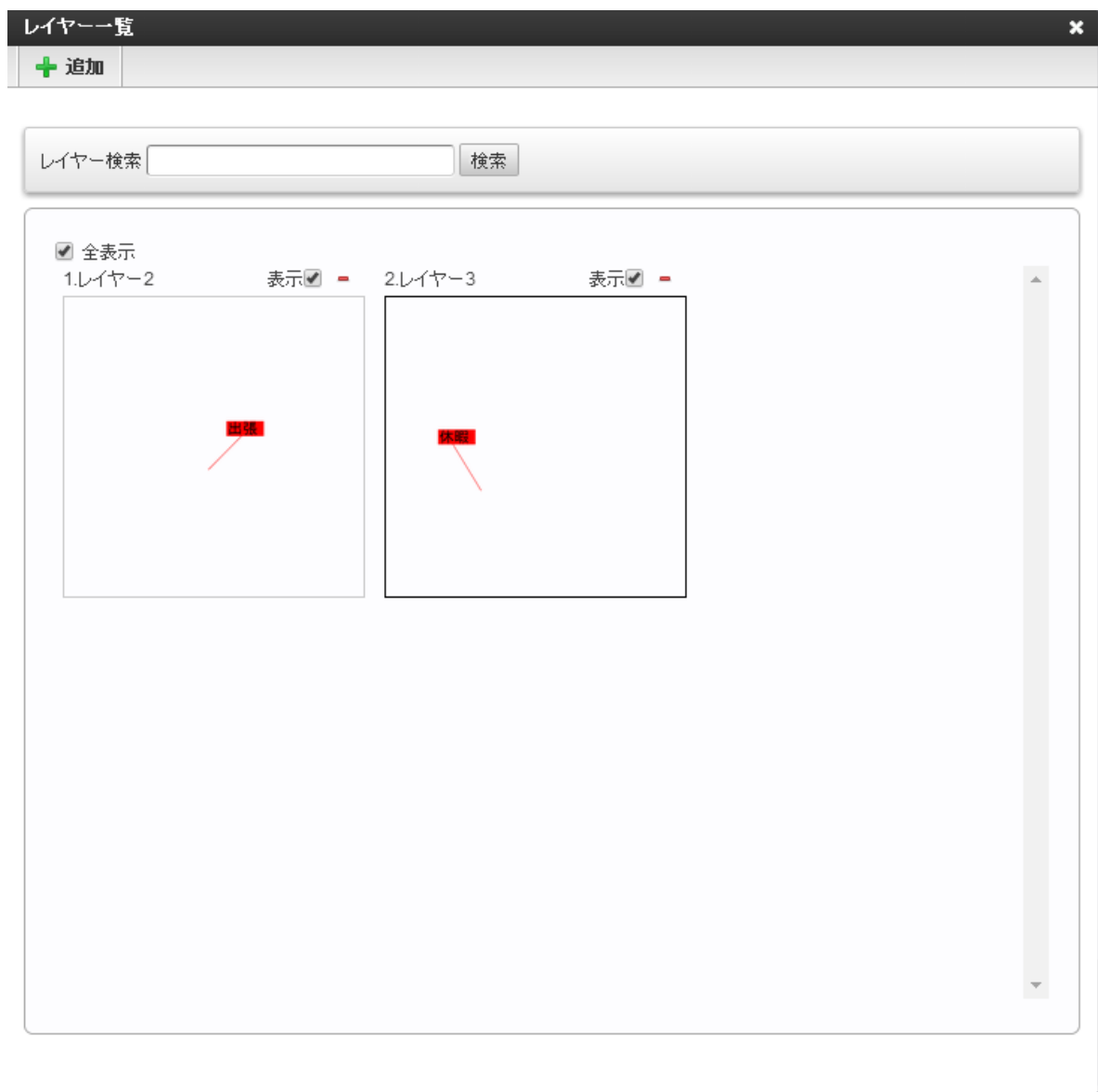
コントロールバーの「レイヤー」ボタンを押下することにより、「レイヤー一覧」ダイアログを表示します。

【図 4.8.1 レイヤー一覧表示ボタン】



レイヤーボタン

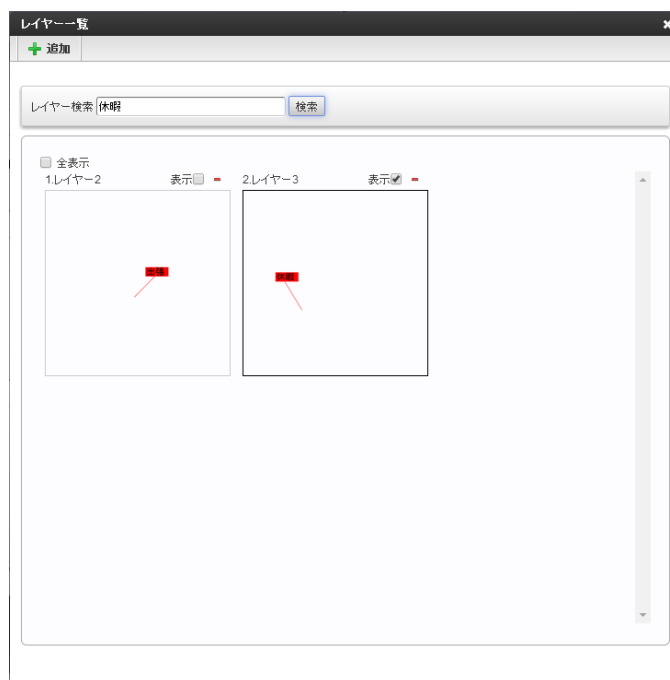
【図 4.8.2 レイヤー一覧ダイアログ】



#### 4.9. アノテーションを検索する

「レイヤー検索」に検索文字列を入力し、「検索ボタン」を押下することにより、テキストが一致するレイヤーのみを表示します。

【図 4.9 アノテーション検索】

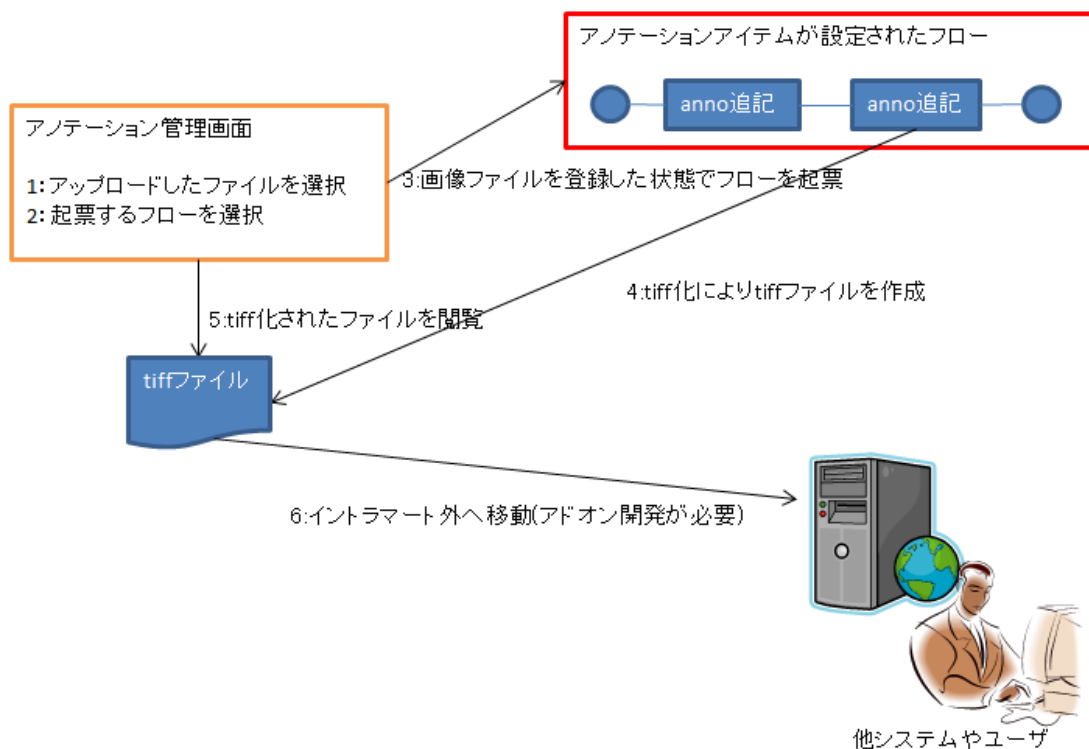


## 5. アノテーション管理機能

アノテーション管理画面では以下の機能を提供します。

1. スキャナーや複合機等によって取り込まれ、イントラマート外のフォルダに格納されている画像ファイルをイントラマート内のフォルダに取り込む。
2. 取り込んだファイルを選択し、当該の処理フローを起動する。
3. 処理フローに取り込んだ処理中・処理後の画像データを閲覧することが出来る。
4. イントラマート内のフォルダから外部フォルダに移動できる。(アドオン開発)

【図5 アノテーション管理機能】



## 5.1. アノテーション管理画面からフローを起票する

1. メニューから「アノテーション管理」を選択し、画面を表示します。

【図 5.1.1 アノテーション管理画面】

The screenshot shows the 'Annotation Management' interface. At the top, there is a navigation bar with the 'Intra-mart' logo and menu items: 'Top', 'Workflow', 'IM-BIS', 'Collaboration', and 'more...'. The user's name '上田辰男' is displayed in the top right corner. Below the navigation bar, the page title 'アノテーション管理' is shown. The main content area features a 'Viewer' tab and a form with the following fields:

起票フロー	<input type="text"/>
案件名	<input type="text"/>
対象Canvas	<input type="text"/>

A '起票' button is positioned at the bottom right of the form area.

2. 「起票フロー」の「虫眼鏡」アイコンをクリックし起票を行うフローを選択します。

【図 5.1.2 起票フロー選択】



※選択したフローにアノテーションアイテムが存在しない場合、「このフローには「アノテーションアイテム」が存在しません」とメッセージが出力され、選択することが出来ません。

3. 起票時に登録する画像をサムネイル領域に登録します。  
登録方法は「4.1 画像を登録する」を参照してください。

【図 5.1.3 サムネイル領域登録】



4. 「起票」 ボタンを押下し起票処理を行います。  
起票時における「案件名」は以下のルールで命名されます。

【表 5.1.4 起票における案件名命名規約】

案件名入力	案件名
入力なし	フロー名 + 「」 (アンダースコア) + 案件番号
入力あり	入力された案件名 + 「」 (アンダースコア) + 案件番号

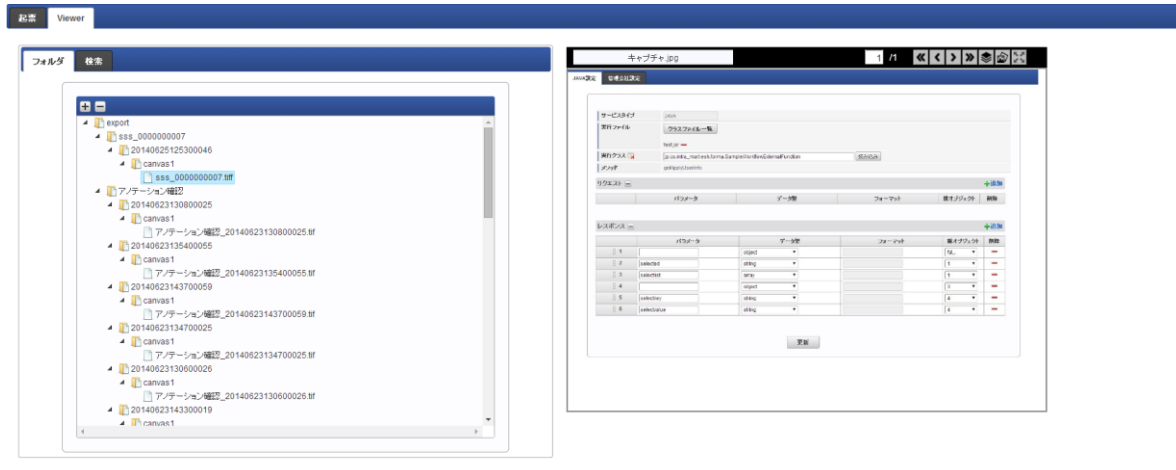


## 5.2 Tiff 出力された画像を閲覧する

「アノテーション管理」画面の「viewer」タブにて閲覧したいTiff ファイルを選択することにより Tiff 化されたファイルを閲覧します。

また、フォルダツリーの階層構造については以下の階層構造で管理されています。

【図 5.2.1 アノテーション管理画面 Viewer】

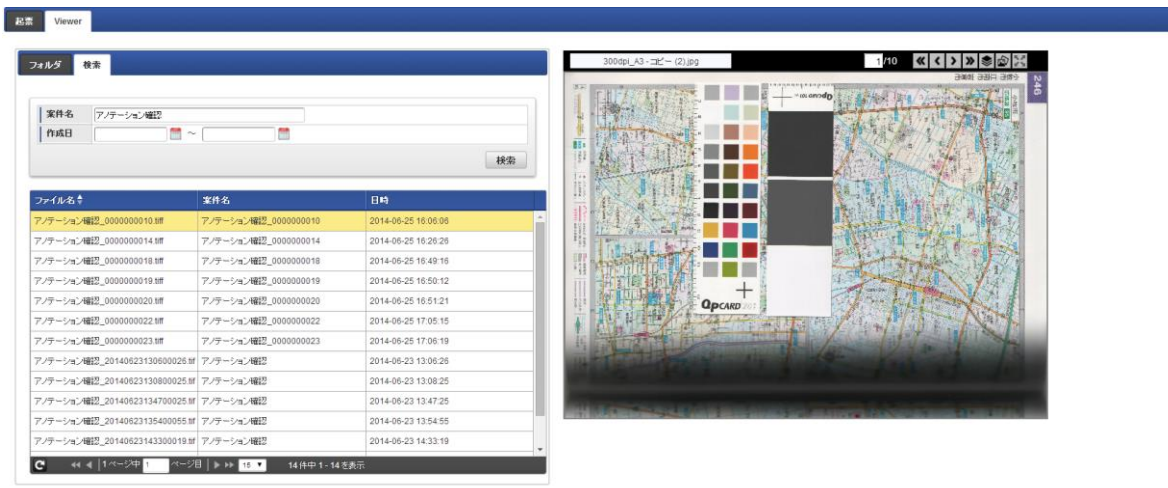


【表 5.2.1 フォルダツリー階層】

階層番号	詳細
1	案件名
2	Tiff 出力された日付時刻文字列(yyyyMMddhhmmsssss 形式)
3	Tiff 出力されたアノテーションアイテムのフィールド識別 ID
4	Tiff 出力されたファイル

### 5.3 Tiff 化された画像を検索する

「viewer」タブ内の「検索」タブでTiff化されたファイルを検索することが出来ます。  
検索は「案件名(中間一致)」または「作成日」での検索となります。



6. 附録

- ・アノテーションアイテムで扱える画像の仕様

ファイル形式 (アップロード)	PNG,JPEG,TIFF			
ファイル形式 (TIFF 出力)	TIFF			
画像サイズ (目安)	用紙サイズ	解像度	ファイルサイズ	画像数
	A3	3500 × 4628 ピクセル (300dpi)	4.0MB/枚	3枚
	A4	2400 × 3435 ピクセル (300dpi)	900KB/枚	5枚
<p>※性能の目安は、intra-mart Accel Platform の推奨スペックにより算出しております。</p> <p>※扱える画像サイズは画像の保存 (TIFF 出力) 時の性能を考慮した数字です。</p> <p>※極端に大きい解像度の画像を利用する場合、正常に描画できない場合があります。</p> <p>4816 × 6872 ピクセルまでは正常に描画できることを確認しております。</p>				